

# 子ども学の ひろば

お便り

POST

## ◇私の「カルチャー・いんふお」◇

今回は食についてです

まず映画「ある精肉店のはなし」(2013年 瀬戸内あや監督)の話題から。大阪の精肉店「肉の北出」で最近まで行われていた、牛を競り、牛舎で丁寧に肥育し、屠畜して精肉し店頭で販売、鍋を囲んで家族だんらん、なめされた皮は太鼓に張られ地域のお祭りで活躍するという、一頭が余す所なく使われるさまを描いた作品です。コンクリート造りの屠畜場で斧を牛の肩間に振り下ろし、床に倒れた牛を瞬く間に解体、枝肉にして店に運び込む男女たちの無駄のない動き。昔は子どもたちも手伝ったとか。店では枝肉を冷蔵庫で熟成させ、きれいに切り分けガラスケースに並べ、お客を迎えます。その肉の美しいこと。北出の年末は書き入れ時、お得意さんからの注文がつぎつぎと入り、箱にきれいに詰めた年末年始用のお肉を総出で配達します。仕事終わりの北出家ではすき焼きを頻張りながら、年末ボーナスが男女に配られます。

次は、伊香保温泉郷近くの「群馬県タイ瞑想村」です。東洋思想を学ぶ娘と、2泊3日の週末瞑想会に出かけました。だいたい色の袈裟姿のタイの僧侶が壇上の金色の仏様の前に座り、モニターを使って法話を展開します。導入の30分の短い瞑想から、3日目には1時間半に、全部で8回に及びました。良い瞑想には、静かな環境、健康、そのためのおいしい食事、十分な睡眠などが条件とされ、その通り、ここでは朝と昼においしい辛いタイ料理が供され、それにまず初めに手をつけるのは僧侶たちです。私たちは僧侶の食卓に食事を運び、ひざまずいて差し出し、合掌します。お返して僧侶たちは、瞑想と共に祝福の言葉をパーリ語で唱えてくれました。テレビも音楽もない3日間を送りました。(AK)

## ◇「ライフ×アート展 2017」報告書が できました！◇

ライフ×アート展は、お茶の水女子大学と附属校園が協働で行うアート実践展覧会です。ひとのライフ×生・生活・人生>に生まれるアートを、さまざまな角度からとらえ、展示し、表現する展覧会として始まりました。今年は初めて本格的な30ページのドキュメンテーション(展覧会カタログ)にチャレンジし、作品のみでなく、実践の過程やワークショップ、後日談も入っています。ご希望の方は、youji-no-kyouiku@cc.ocha.ac.jp にメールでお知らせください。限定50冊を、一冊1000円でお分けします。

## 日本保育学会第71回大会のお知らせ テーマ「保育の新時代へ」

会期：2018年5月12日(土)、13日(日)  
会場：宮城学院女子大学(宮城県仙台市)

あの東日本大震災・東京電力福島第一原子力発電所事故から8年目を迎えます。復興は残念ながら、いまだ道半ばです。しかしこの間、子どもたちの幸せと健やかな成長を守るために、保育関係者がどれだけ強い思いで奮闘してきたかを、皆さんで語り合い確かめ合い、未来につなげてまいりたいと考え、このテーマを選びました。

(第71回大会第1号通信 実行委員長挨拶より)